

## 45 第4類危険物の火災を防ぐ（2）

「44 第4類危険物の火災を防ぐ（1）」（平成23年6月発行）で、第4類危険物の特性を紹介しました。

ここでは、第4類危険物の火災を防ぐためのポイントをまとめましたので紹介します。

### 1 火災を防ぐためのポイント

#### （1）火気の使用制限

炎、火花、高温体などと接近又は過熱を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させない。

#### （2）遮光、換気

容器は密閉して、日陰の風通しの良い場所に貯蔵する。

可燃性蒸気が発生してしまうような取扱いをする場合は、十分な通風、換気を行う。

#### （3）火花を発生する機械器具の使用制限

可燃性蒸気が滞留するおそれのある場所では、火花を発生する機械器具などを使用しない。

#### （4）静電気対策

危険物の流動などにより静電気が発生するおそれがある場合は、アースを設置するなど、静電気を除去する措置を講じる。

### 2 消火の方法

ガソリンや灯油の火災には、粉末消火器や泡消火器などを使用する。（水より軽く水に溶けない危険物の火災に注水すると、危険物が水の表面に浮いて火災範囲を広げてしまう。）

アルコールなどの水溶性の液体の場合は、水溶性液体用泡消火薬剤（耐アルコール泡）を使用する。